

関係学校長 様

石川県高等学校体育連盟柔道専門部
部長 岩端 由紀子
(公 印 省 略)

令和8年度石川県高等学校新人体育大会柔道競技実施要項

- 1 主 催 石川県教育委員会 石川県高等学校体育連盟
- 2 後 援 石川県柔道連盟 北國新聞社
- 3 主 管 石川県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 日 時 団体の部 令和8年11月12日(木) 午前10時00分より
個人の部 令和8年11月13日(金) 午前10時00分より
男子個人戦 60kg級・66kg級
女子個人戦 全階級
令和8年11月14日(土) 午前10時00分より
男子個人戦 73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級
個人戦 無段の部
計 量 令和8年11月12日(木) 8時40分～9時20分 (時間内計量)
男子個人戦 60kg級・66kg級 (柔道場)
女子個人戦 全階級 (女子更衣室)
令和8年11月13日(金) 8時40分～9時20分 (時間内計量)
男子個人戦 73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級 (柔道場)

*男子は原則として上半身裸・短パンとし、女子はTシャツ・短パンとする。
原則として前日計量とするが、個人戦のみの参加校については当日計量を認める。
その場合、顧問会議で申し出ること。
- 審判・監督会議 令和8年11月12日(木)～14日(土) 午前9時30分より2階講師控室で行う。
- 5 会 場 石川県立武道館 金沢市小坂町西8-3 TEL076-251-5721
- 6 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2025-2028)、全国高体連申し合わせ事項、石川県高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
(2) 「優勢勝ち」の判定基準
ア 団体試合は「有効」又は「僅差」(「指導」差2)以上とする。
決勝トーナメントにおいてチームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。
延長戦では「有効」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。
イ 個人試合は「有効」又は「僅差」(「指導」差2)以上とする。
試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を行う。
延長戦は「有効」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。
(3) 試合時間は団体・個人とも4分とする。但し、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。
- 7 競技方法 (1) 団体戦はリーグ・トーナメント戦で行い、点取試合とする。
・リーグ戦でのチーム間の勝敗決定は次による。
ア 勝者数の多い方を勝ちとする。
イ アで同等の場合は、「一本」勝ち相当の勝者数の多いチームを上位とする。
ウ イで同等の場合は、「技あり」勝者数の多いチームを上位とする。
エ ウで同等の場合は、「有効」勝者数の多いチームを上位とする。
オ エで同等の場合は、「引き分け」とする。

- ・予選リーグ戦での順位決定は次による。
 - ア チームの勝ち数の多い方を勝ちとする。
 - イ アで同等の場合は、チームの負け数の少ない方を上位とする。
 - ウ イで同等の場合は、全試合を通じて勝者数の多いチームを上位とする。
 - エ ウで同等の場合は、全試合を通じて「一本」勝ち相当の多いチームを上位とする。
 - オ エで同等の場合は、全試合を通じて「技あり」勝ちの多いチームを上位とする。
 - カ オで同等の場合は、全試合を通じて「有効」勝ちの多いチームを上位とする。
 - キ カで同等の場合は、全試合を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。
 - ク キで同等の場合は、全試合を通じて「一本」負け相当の少ないチームを上位とする。
 - ケ クで同等の場合は、全試合を通じて「技あり」負けの少ないチームを上位とする。
 - コ ケで同等の場合は、全試合を通じて「有効」負けの少ないチームを上位とする。
 - サ コで同等の場合は、全試合を通じて「僅差」負けの少ないチームを上位とする。
 - シ サで同等の場合は、直接対決の勝敗により決する。
 - ス 以上で順位が決められない場合は以下とする。
 - (ア) 決定戦が必要でない場合は、同じ順位を与える。
 - (イ) 決定戦が必要な場合は、該当チームを抽選により単純トーナメント方式に組み合わせて、各チーム自由に選出した代表選手 1 名により試合を行う。
- * チームが最終試合前に負傷等により棄権した場合、棄権したチームの全ての記録を抹消する。
- ・決勝トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ア 判定基準：選手対選手それぞれの試合の勝敗は「有効」又は「僅差」以上とする。
 - * 僅差は、「指導」差 2 以上とする。
 - イ 「技の内容」と「指導」の重み
 - * 一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞有効＞僅差の順とする。
 - ウ 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定
 - (A) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (B) (A) で同等の場合は、「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
 - * 一本勝ちと反則勝ちとは同等とする。
 - (C) (B) で同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
 - (D) (C) で同等の場合は「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
 - (E) (D) で同等の場合は「僅差」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
 - (F) (E) で同等の場合は、代表戦を行う。
 - * 代表戦の判定基準は、個人試合に準ずる。
- (2) 団体戦で一度変更した選手は再出場できない。
- (3) 個人戦はトーナメント戦で行うが出場人数が 4 名以下の場合はリーグ戦とする。延長戦において同時反則負けの場合は、再度延長戦（ゴールデンスコア）を時間無制限で行う。
- (4) 男子個人戦においてのみ敗者復活戦を行うが出場人数によっては行わない階級もある。

8 参加資格

- (1) 石川県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該学校長が参加出場を認知した者。
- (2) 令和 8 年度、石川県柔道連盟を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録完了した者。
- (3) 年齢については、平成 19 年 4 月 2 日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技 2 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
- (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後 6 ヶ月未満の者は出場できない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住や令和 6 年能登半島地震に伴う転校などの場合で、石川県高等学校体育連盟会長が許可した者はこの限りではない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、学校長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例 全国高等学校総合体育大会開催基準要項【8－(8)】並びに【大会参加資格の別途に定める規定】に準ずる。
- (8) 外国人留学生については卒業を目的として入学していること（短期留学は認めない）。
- (9) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (10) 脳振盪の対応について
 - ① 大会 1 ヶ月前に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (11) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (12) 各種感染症の感染防止対策について、参加者は主催者が定める各種感染症の予防措置を必ず遵守すること。なお、試合中に感染予防措置を遵守できない参加者には、参加

- の取り消しや途中退場を求めることがあり得る。
- 9 参加制限 (1) 男子団体は1校1チームとし、監督1名、選手5名、**補欠2名**で編成する。
(ただし、3名以上でエントリーできる。また、**配列は後詰めとする**)
女子団体は1校1チームとし、監督1名、選手3名、**補欠2名**で編成する。
(ただし、2名以上でエントリーできる。また、**配列は後詰めとする**)
外国人留学生のチーム人員は男子・女子とも1名以内とする。
(2) 個人戦(体重別)は男女7階級とし、無段の部は出場人数と体重を考慮し階級を分ける場合がある。
男子体重区分
(60kg 級・66kg 級・73kg 級・81kg 級・90kg 級・100kg 級・100kg 超級)
女子体重区分
(48kg 級・52kg 級・57kg 級・63kg 級・70kg 級・78kg 級・78kg 超級)
外国人留学生の参加人数の制限は設けない。
(3) 個人戦無段の部
柔道を始め、1年未満(前年度の新人大会以降)の無段の者。
無段の部出場者は(2)の個人戦(体重別)には出場できない。
- 10 参加申込 以下の①および②両方の申込をお願いします。
- ① **令和8年10月15日(木) 午後5時 郵送 必着**
申込先 〒920-0344 石川県金沢市畝田東1-1-1 金沢市立工業高等学校 塚本 勇洋 宛
A4封筒の表に**新人大会申込書在中**と記載してください。
申込用紙は団体戦、個人戦ともに**4部折り曲げず**に提出してください。
また、封筒の裏に**新人大会申込者数調査**を貼り付けてください。
- ② **令和8年10月16日(金) 午後5時 メール 必着**
入力済み参加申込用紙ファイル(Excel)を、下記メールアドレスに送付して下さい。
y_yamada38@ishikawa-c.ed.jp (県立工業高等学校 山田 悠太郎 宛)
- 11 参加料 団体1チーム5,000円、個人1人600円 **顧問会議で納入してください。**
- 12 選手変更 団体戦のみとする。所定の選手変更届用紙に記入し、学校長の承認印を捺印の上、審判・監督会議までに係に提出すること。また、選手変更によって退いた選手は、個人戦に出場できない。
- 13 顧問会議及び抽選 **令和8年10月20日(火) 午後2時** 石川県立武道館 第四会議室
抽選会の前に顧問会議を行います。各学校1名は必ず出席してください。
専門委員長、副専門委員長、競技部及び強化部(男女)主任・副主任は顧問会議・抽選会の準備のため12時にお集まりください。
- 14 競技及び研修協議会 **令和8年10月22日(木) 午前9時30分** 金沢市立工業高校 実習棟2F 実習室
個人戦抽選・大会プログラム作成・諸準備・ルール研修会を行います。
出席者 専門委員長・副委員長・競技部委員・会計
- 15 補助員 鶴来高校、金沢市立工業高校の柔道部員のご協力をお願いします。
- 16 その他 (1) 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて、参加申込書の提出により下記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応いたします。
①参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果が、大会プログラム、競技会場内の掲示板、石川県柔道連盟ホームページに掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により新聞、テレビに公開される場合があります。
②ケアシステムの動画は各種委員会講習会で使用されることがあります。
③優勝及び上位入賞結果は、次年度以降の大会プログラムに掲載されます。
(2) 試合中の負傷等については、応急処置後は一切の責任は負いません。
各所属で責任をもって傷害保険等の加入をお願いします。
(3) 試合運営に関わる書類をメールで配信することがあります、確認し各所属で対応して下さい。

※申込書のファイル

本要項発送と同時に添付ファイルとして送信します。

※オーダー用紙を入れるケース

10月20日(火)の顧問会議時に前回大会のものをお渡しします。本大会用にメンバーを入れ替えて、大会当日に持参し、競技記録席までお持ちください。書式は申込書のファイル内にあります。